

地 域	丹波	日 付	12/19 (土)	人 数	18 人
参加者	丹波の森大学				
主な意見					
<p>(兵庫には住民とともに取り組む精神がある)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・大阪に住んで兵庫に来たが、大阪と兵庫の違いがわかった。 ・府民はお客さん。上から府民に対して従えという。 ・兵庫は住民とともに取り組む参画の精神がある。大阪と違う。 ・相手の立場に立って考えることが大事。自分だけがよければいいと思う人が多い。 ・いいこと言うが活動しない人が多い。地域の気軽に話せる関係づくりが大事。 ・みんなでつくっていく、県民が主人公というのが大事。 ・関係ないではなく、自分もどう助けられるかを考える。自分のことだけでなく、何ができるかをかんがえる。 ・県職員自らも動くべき。 <p>(子供の頃からの教育が根本)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・良い教育、子供からの教育が根本。団塊の世代が子供に対して教育をできてなかった。 ・もっと三世代交流などできておれば、良くなっていたのではないかと思っている。 ・土間、座敷、囲炉裏で、言い伝えができていたが。 ・リモートでその思いをどうつないでいけるか。 <p>(弱いものに優しく)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地域では役員が優しくない。地域づくりはやさしく。弱いものには特に優しく。楽しく地域づくりする。 ・森づくりやっている、いい自治会と紹介される。 ・新しい人が来たら、情報提供する。迎えに行く、誘いに行く。優しくしないとこない。優しくすれば新しい住人が先頭に立って頑張ってくれる。 <p>(自然が残り、若い人がいる地域に)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・三世代同居している。娘は三十過ぎてから丹波市の良さに気づいたと言っている。 ・サラリーマン生活には戻れないと言っている。 ・東京から帰ってきて農業をはじめた。野菜を売って生計を立てている。 <ul style="list-style-type: none"> ・丹波にはすばらしい自然がある。雲海もすぐにみられる。人も親切。自分がやりたいことができる。 ・丹波の良さを若い人に発信してもらえたら。 ・自然が残った、若い人がいる地域になれば。 					